

- 第32回村民体育祭から……………2～3
- 祝成人式……………4
- 民生課/せんりゆう北緯41°/1枚の写真から…5
- 第45回県民体育大会から/商工会から……………6
- 談話室/行事予定……………7
- けっばる蓬田人/戸籍の窓口……………8

広報

よもぎた



子ども会リーダー研修会(8/1～3)

水澄めば子どもの笑顔二つ三つ

9月  
1990

読書の秋とか、食欲の秋、  
芸術の秋という。  
今年の秋こそ、赤トンボが  
スイスイ涼しげに飛び回る下  
で、文庫本の一冊でも真剣に  
読んでみようか。

やはり、秋なのだ。  
読書の秋とか、食欲の秋、  
芸術の秋という。  
今年の秋こそ、赤トンボが  
スイスイ涼しげに飛び回る下  
で、文庫本の一冊でも真剣に  
読んでみようか。

残暑がきびしかった。  
今年の夏は、ヤマセも少な  
く暑い日が続いたが、子供達  
は暑さなんかへっちゃらで、  
元気に遊びまわったようだ。  
村の子は、日に焼けた元気  
な顔で全員学校に通っている  
という。事故なく休みが終わ  
つて、まずはめでたい。  
でも、宿題はちゃんと出来  
たのかな。

盆過ぎて宵闇暗し虫の声  
芭蕉

●第32回 村民体育祭

# 阿弥陀川チームが総合優勝!

小差で第2位長科、第3位中沢

## 入場行進は宮本地区会が三年連続V

七月二十七日(日)、寒くもなく、暑くもないという日、第三十二回村民体育祭が村総合運動場を会場に、約千人の村民を集めて開催され、少年つなひき優勝など各競技に高得点を重ねた阿弥陀川チームが、見事総合優勝に輝きました。



ら始まりました。

入場行進には、昭和六十一年から交通安全協会会長賞が出され、年々好評で、それぞれ工夫が凝らされましたが、予想どおり「祝ロイヤルカップルおめでと」の横断幕を先頭にして礼宮様と紀子様(ぶん)した子供達の入場で宮本地区会が見事三年連続の賞を獲得しました。

開会式では、八戸大会長が「強い身体と強い心村民体育祭のテーマのとおり明るい豊かな村づくりのためにも、今日は一生懸命頑張ってほしい」と挨拶し、来賓を代表して津島村議会議長より「スポーツ日和である今日は、友情と親睦を深め、部落の名誉をかけてケガのないよう頑張ってください」と祝辞をいただいた。

この後、藤本忍(長科)さんが、半円に団旗が集まる中で元氣一杯の選手宣誓をしました。

大会種目は、昨年の百周年とは違いシンプルな種目になりましたが、杯がかかった競技はだいたいぶ熱が入ったようです。

二年前からプログラムに加えられた男女砲丸投げと走り幅跳びも年々好評で、大会新が続々出るなど大会を盛り上げました。真夏ながら選手には最高のコンディション、ケガ人もなく午後三時前には、阿弥陀川部落の総合優勝で大会の幕を閉じました。



### ◆今年の主な成績

#### ▼総合の部

- 一位 阿弥陀川(七十四点)
- 二位 長科(六十七点)
- 三位 中沢(六十六点)

#### ▼入場行進の部

- 一位 宮本
- 二位 阿弥陀川
- 三位 郷沢

#### ▼砲丸投げの部(男子)

- 一位 福田 幸生(郷沢)
- 二位 坂本 豊昭(長科)
- 三位 坂本 太(中沢)

#### ▼砲丸投げの部(女子)

- 一位 久慈 優子(広瀬)
- 二位 稲葉 澄子(宮本)
- 三位 稲葉ひとみ(高根)

#### ▼走り幅跳びの部(男子)

- 一位 吉田 智範(中沢)
- 二位 佐井 皇(宮本)
- 三位 稲葉 宏(高根)

#### ▼走り幅跳びの部(女子)

- 一位 飯田 明子(瀬辺地)
- 二位 木戸 琴美(瀬辺地)
- 三位 久慈 文子(広瀬)

#### ▼少年八百メートル徒競走(女子)

- 一位 飯田理賀子(瀬辺地)
- 二位 工藤 友美(広瀬)
- 三位 木村 善子(蓬田)

# ポルラメカ



総合優勝の阿弥陀川チーム



位置についてよ〜い!



元氣よくラジオ体操



苦しいけれど頑張るぞ!



そ〜れケツパレ!



綱引きで優勝した郷沢チーム



ムカデ競争はイチニイチニ



一走るよりこっちの方が楽しい。



手を使えないと苦しい。

- ▼少年千メートル徒競走(男子)
  - 一位 八幡 清彦(高根)
  - 二位 坂本 信吾(長科)
  - 三位 八幡 充(高根)
- ▼中学生以上千五百メートル徒競走(女子)
  - 一位 伊豫部美希子(瀬辺地)
  - 二位 佐藤 由香(長科)
  - 三位 榎引 恵子(中沢)
- ▼中学生以上三千メートル徒競走(男子)
  - 一位 佐井 皇(宮本)
  - 二位 田中 和哉(蓬田)
  - 三位 工藤 治郎(中沢)
- ▼高齢者玉入れ
  - 一位 中 沢
  - 二位 長 科
  - 三位 蓬 田
- ▼少年綱引き
  - 一位 阿弥陀川
  - 二位 長 科
  - 三位 中 沢
- ▼部落対抗綱引き
  - 一位 郷 沢
  - 二位 中 沢
  - 三位 長 科
- ▼部落対抗リレー
  - 一位 長 科
  - 二位 高 根
  - 三位 広 瀬

●自らの人生を切り開こう！

# Congratulations! 成人式



## 四十六名が胸に新たな誓い

おとなになったことを自覚し、自ら強くたくましく生き抜こうとする新成人をお祝いし励ますとともに、郷土蓬田村の構成員として相協力し、明るい豊かな住みよい村づくりに努力する村民としての出発日としてらあとう、八月十五日(水)村中央公民館において、新成人(四十六名出席)、来賓及び関係者の参加を得て、平成三年度の成人式が挙行されました。

式は午前十時から始まり、奈良尹教育長から式辞があり、続いて、八戸良次郎村長と津島鉄男村議会議長から、それぞれお祝いの言葉をいただきました。

新成人代表の木戸琴美(瀬辺地)さんは、「一人の大人としての自覚を持つことはもちろん、忘れがちな、どんな些細な事でも感動を覚える心、ただ時代に流されながら生きているのではなく、常に何らかの目標を持ち、自ら進んで生きぬいていくんだという気持ちを持ち続けていける、そんな大人になりたいと思います」と新成人誓いのことを発表しました。

この後、村長から、男性には、村の鳥オオハクチョウがデザインされたネクタイピン女性にはネックレスがそれぞれプレゼントされました。

また、村選挙管理委員会坂本孝男委員長より、「選挙啓発」用のオリジナルテレホンカードがプレゼントされました。

引き続き、角山桂一(蓬田)さんが「求メヨ、サレバ与ヘラレン、この言葉の示す通り、他人が自分が望む人生を決して与えてはくれません。自分が望む人生は自らの手で

しか得られないものだと思います。社会にでて困難に出会ったときには、今日の成人式での初心を思い出し、志を貫き通すために自らの人生を切り開こうと思います」と提言



し、村民の誓いを、森三奈子(阿弥陀川)さんと新成人が全員で斉唱しました。

記念講演は、全日本ダンス協会連合会常務理事の成田要次郎先生に「新成人に望むもの」と題した熱っぽい講演をしていただきました。

式の最後は、澤田教育委員会委員長の音頭で、ジュースで乾杯しました。

また、アトラクションで、玉松太鼓愛好会の有志三名による玉松太鼓が披露され、新成人のほとんどが初めて聞くとあって会場からは大きな拍手を受けました。

式典終了後には、新成人と来賓が一緒に記念撮影をしてめでたい成人式を閉じました。

# 家族が手を取りあって！

## 村精神障害者よもぎ家族会が設立総会

精神障害者に対する正しい知識を深め、精神障害者の社会復帰を目標に、互いに学びあい、家族間の親睦を図るとともに、社会における偏見を是正し、地域精神保健の向上をめざすことを目的に、八月十日（金）午前九時半より村玉松公民館にて、家族や関係者三十名の出席を得て村精神障害者よもぎ家族会が設立総会を開催しました。

総会では、家族会の設立に至る経過報告がされた後、八戸良次郎村長と成田昌弘青森保健所長より祝辞をいただきました。



引き続き議事となり、会則や事業計画、予算などを決め、役員を選出と進み、初代の会長は大宮平八郎（郷沢）さんになりました。



会長 大宮平八郎

事業計画は、①社会復帰訓練教室への運営協力②学習会、研修会の開催及び参加③レクリエーション④他家族との交流等を決めました。

また、「精神障害者を抱える家族の役割」と題して藤代健生病院院長の蟻塚亮二先生の記念講演があり「家族の声を主とした、社会福祉制度の拡大に向けて、強力に取り組むことが大事である」と話されました。

昼食後、蟻塚先生を囲んで四家族会座談会が行われました。新しくできた、蓬田村精神障害者よもぎ家族会にご理解とご協力をお願いします。

## 交通事故の無料相談 ご存じですか？

●電話のご相談もお受けします！

☎0177-22-1025（直通）

○相談日

月曜から金曜午前9時半～午後4時40分

◎専門の相談員が親身になってご相談に応じます。

◎弁護士相談日

毎月第4水曜日午後1時～4時

(社)日本損害保険協会青森自動車保険請求相談センター

青森市堤町2-1-7 日産火災青森ビル4階（青森文化会館向い）青森調査事務所内 ☎0177-76-4391

## 写真



郷沢 加藤 悦さん

昭和三十六年、蓬田小学校修学旅行の時、函館山頂でバス酔いの二人を、向かって右が八戸良幸（阿弥陀川）さん、担任の高谷信郎先生（現波打小）が撮ってくれた写真です。

この写真を見るたびにあの頃の思い出が蘇（よみがえ）ります。

・おこられる 悪いところは ママに似る  
・父同士 娘の 話に 花咲す  
・作業より 子育てが苦しむ 今の親  
・婚期すぎ それでもきかず 親がすね

いっ子 節子 啓子 貞春

・運動会 子供以上に 親はしゃぎ  
・名を残したがる親父は 芸達者  
・年老いて 子の手借りても 子が不安  
・子に託す 人それなりの 親心

重彦 俊久 勝子 栄博

今年も例年になく暑い日が続きました。これから一日と秋に近づきます。秋をテーマに一句か二句か。



# 陸上女子の部で総合1位!

## ゲートボールの部は2位!

### 県民体育大会で続々入賞!

八月十八日、十九日の二日間、さわやかに晴れ上がった夏空の下、県民スポーツの祭典、第四十五回市町村対抗県民体育大会が、弘前市を主会場に行われました。

わが村も陸上競技、ゲートボール・卓球・ボウリング競技の四種目に出場して、陸上競技では女子が総合一位を獲得、ゲートボールの部では見事二位を獲得するなど各種目とも上位入賞する健闘を見せました。

特に、森三奈子(阿弥陀川)さんは、百メートル徒競走一位と、四百メートル徒競走二位、走り幅跳び三位入賞というすばらしい成績でした。

今年初参加の小松美由紀(蓬田)さんも二百メートル徒競走



で見事二位入賞を果たしました。また、男子では小嶋誠(長科)さんと、

久慈修一(広瀬)さんが砲丸投げで見事三位入賞を果たしました。

おめでとございます。成績は次の通りです。

- ◆女子百メートル徒競走①森三奈子(阿弥陀川) ◆ゲートボール②工藤茂芳(長科) 坂本三千男(中沢) 坂本英夫(長科) 木戸弘(瀬辺地) 八幡重五郎(高根) 泉谷留吉(長科) 坂本繁男(中沢) ◆女子二百メートル徒競走②小松美由紀(蓬田) ◆女子四百メートル徒競走②森三奈子(阿弥陀川) 小松美由紀(蓬田) 田中りみ子(瀬辺地) 藤本郁子(長科) ◆女子走り幅跳び③森三奈子(阿弥陀川)
- ◆男子砲丸投げB③小嶋誠(長科) ◆男子砲丸投げC③久慈修一(広瀬) ◆女子砲丸投げ④坂本ひとみ(中沢)



◆男子砲丸投げA⑤中川悟(郷沢)

## 暮らしと電気安全

断線した電線には  
さわらない

(財)東北電気保安協会

我が国の位置する北半球には、年間二十八から三十回程度の台風が発生し、そのうち二、三回の台風が我が国に直接影響を及ぼしています。日本を襲う台風による雨は梅雨と並んでわが国にとって、貴重な水源にもなっています。

ところで、台風は統計的には九月上旬から下旬に我が国に上陸し、各地に風水害をもたらしています。

電気設備の浸水や冠水、強風による倒壊や断線などがあります。断線した電線には電流が流れていることがありますが、絶対には手を触れないで下さい。

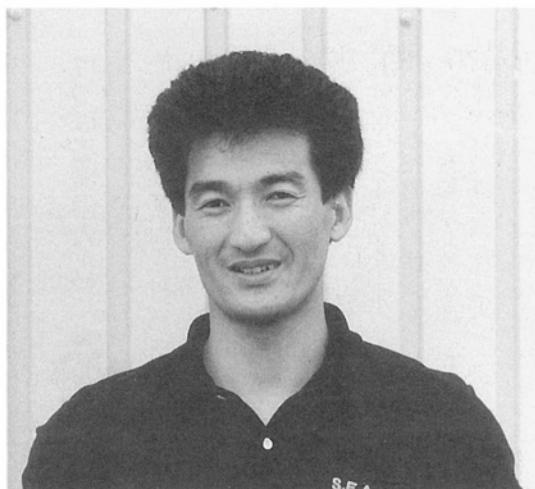
電力会社に連絡しましょう。

## 特別相談日を開設します

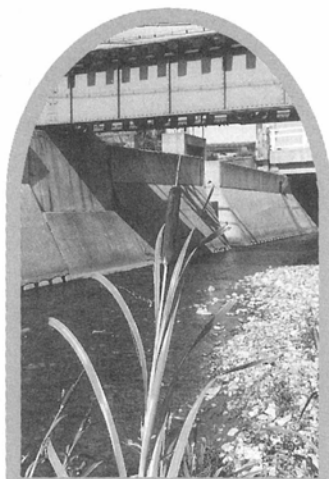
蓬田村商工会では、毎月10日を特別相談日として、(但し日曜祭日の場合は翌日とする)経営・金融・税務・経理等について、相談に応ずることになりましたので、皆様のお出でをお待ちしております。

1. 相談日 9月10日
2. 時間 午前9時30分～午後3時30分
3. 場所 蓬田村商工会館
4. 担当者 経営指導員 熊谷武四郎 外

たばこ税は  
暮らしの中に  
生かされています



No.31 **がんばる** 稲葉 宏 高根



# 談話室

## ネプタ絵はまかせて!

今回は、高根子供会の大扇ネプタ絵を四年間続けて描いている稲葉宏さん(蓬田村農協勤務)に取材しました。稲葉さんは大変絵が上手で、四年前子供会がネプタ運行

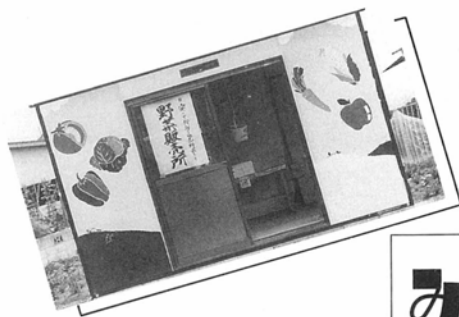
すると聞き、部落の活性化のために一役買うことになりました。

今まで自己流で毎年約三百位ずつ手掛けて来たそうですが、毎日仕事が終わってから夜十時まで一週間がかりで仕上げます。作業は、高級障子紙

に墨付け、ロウソク付け、色塗りという順番に進みますが、「一人での作業ははかどらないので助手がほしい」と本音をポロリ。

これからは、「子供達にネプタ絵の描き方を指導し、後継者づくりとともに、自分達が造った手作りネプタ運行になったら面白い」と夢は膨らみます。

仕事では、全国へ今売出中の「桃太郎」担当で、六月から十月までは早朝より農協トマト選果場へ出勤して、毎朝八十戸の人達が持寄る二千ケースのトマトを自分の目で一個ずつA・B・C・Dの等級に選定して来ましたが、八月十八日から選定機が導入されたため、トマトの選定も正確になり等級も上がり農家の収入も増えると自信タツプリ。「現在、村のトマトでの収入は一億二千万円ですが、将来は五億円まで伸びてほしい」と語る稲葉さんが「桃太郎」にかける期待は大なのです。また、毎年秋に開催される陸奥湾一周駅伝競走や、県民体育大会の選手として活躍中の稲葉さんは、小学校一年の女の子と四歳の男の子を抱えて今日も頑張る。



とっても綺麗に野菜のイラストが描かれた野菜の販売所を見つけました。この販売所、阿弥陀川の八戸さんが経営していますが、中に入りますと、自家の畑から採り立ての新鮮な野菜「ピーマン・ニンニク・ミニトマト・ナス・キュウリ・トマト(桃太郎)・大根・カボチャ」等が割安の値段で棚に並べられています。この販売所、秋の収穫が終わるまで営業すると聞きます。一度ご覧になってはいかがでしょうか?

○9月行事予定							
日	行	事	担	当	日	行	事
21	母親教室	(中央公民館)	民生課		19	参観日	蓬田小学校
14	敬老会	(村トレーニングセンター)	民生課		13	英語スピーチコンテスト	蓬田中学校
12	献血	(役場前)	民生課		8	蟹田地区少年防犯弁論大会	蓬田中学校
4	秋の大掃除検査	(中沢・高根)	民生課		2	蓬田保育所運動会 (雨天は中学校体育館)	保育所

けつばる蓬田人 ②4

# あつたは蓬田のけつばる

(南新潟オフィスマシ)

技術課長 荒木

靖人さん



故郷蓬田村を昭和五十三年に離れはや十二年になります。現在、新潟県長岡市に住んで居りますが、最初は高校卒業と同時に東京の専門学校に入りました。

「学校が終わったら必ず蓬田に帰ってこいよ!」と言った両親の言葉ではありましたが、卒業してから視野が広がりましたが、まだ故郷に帰る気になれず東京で就職しました。そしてすぐ新潟県長岡市に転勤して来ました。その二年後に結婚

し現在に至って居ります。そんな私も近頃では、身内の結婚式等で帰省する機会も増えて我が蓬田村がどんどん発展して行く姿を見られる様になりました。

最近ですが、このゴールデンウィークに家族と故郷に帰省して子供に言われたことがありました。

「お父さんの生まれたところは何にもないからおもしろくない。」と言われました。

私の子供も今はまだ、小学校二年生と一年生ですが、自然にとけ込んで行けるようなくつもりです。

健康優良児に育てて行きたいと思えます。最後になりましたが、村制一〇〇周年に当たり、蓬田村の益々の御発展と、村民の皆様方の御健勝をお祈り申し上げます。

私が小さい頃、よく釣りをしていた防波堤もいまではきれいになっています。これから益々近代的になって行くと思いますが、ただ忘れてはいけません。『青森県蓬田村』だと言うことです。『青森』というのには『青い森』、『蓬田』と言うのはその『青い森』の中の『ヨモギとタンポ』と書いてあるとおりに自然を大事にしながら近代的発展を望んでおります。

最近の子供は何不自由なく物を手に入れる事が出来る様に成りましたが、自然と言うのは簡単に手に入るものではありません。ですから子供達には、自然と言うものはどんなに大切な、いかに重要な



めも

▶現住所/新潟県長岡市関原町1丁目4608番地  
 ▶0258(46)9859▶生年月日/昭和35年2月5日  
 ▶出身/蓬田/小松清三郎氏長男▶家族構成/妻・きよえ・長男・翔(しょう)・諒(りょう)  
 ▶好きなもの/ドライブ・パソコン・ゴルフ・釣り▶経歴/青森県立今別高等学校卒(昭和53年)・日本工学院専門学校卒業(昭和55年)・ジャパングレーライン有線事業部(昭和55~57年)・南第一電気工業所(昭和57~60年)・南新潟オフィスマシ「営業・技術部/技術課課長」(昭和60~現在に至る)

戸籍の窓



人口と世帯数 (7月31日現在)

総人口 4,196人  
 男 2,027人  
 女 2,169人  
 世帯数 1,058世帯

7月受付分

お誕生おめでとございます

工藤 千広 (正 幸 2男  
 一 子 長男  
 清水 大 (春 明 夫 2男  
 勝 代 友 紀子

ご結婚おめでとございます

(佐井 邦彦 (広 瀬)  
 (三上 優子 (浪 岡 町)  
 (越田 希悦 (瀬 辺 地)  
 (木戸ゆき子 (瀬 辺 地)  
 (藤本 鈴夫 (長 科)  
 (佐藤恵美子 (青 森 市)  
 (前田 清秋 (愛 知 県)  
 (山館美年子 (瀬 辺 地)  
 (和田 正道 (中 沢)  
 (市川ひとみ (青 森 市)

おくやみ申し上げます

越田圓太郎 (瀬辺地 76)  
 中村 ヤエ (蓬田 86)  
 青木 慶作 (阿弥陀川 86)